

## 第1回松本市新庁舎建設市民懇話会会議録

- 1 開催日時  
平成29年10月28日(土) 午後2時～4時
- 2 開催場所  
松本市役所 本庁舎3階 大会議室
- 3 出席委員  
河西 史郎委員、倉澤 聡委員、坂井田 金一委員、佐藤 人実委員、  
下笹 玲奈委員、高倉 万記子委員、田下 光委員、土屋 澄彦委員、  
寺内 美紀子委員、西村 昭太委員、萩原 梢委員、福嶋 良晶委員、  
前田 紳一委員、松尾 朗子委員、松山 紘子委員、武者 忠彦委員、  
村山 忠勇委員、渡邊 幸夫委員
- 4 欠席委員  
田邊 愛子委員、宮澤 信委員
- 5 松本市出席者  
菅谷市長、山内政策部長、横内政策課長、宮尾課長補佐、加島主査、  
伏見主任
- 6 結果概要
  - (1) 開会  
(事務局) 資料1 松本市新庁舎建設市民懇話会設置要綱について説明  
資料2 松本市新庁舎建設市民懇話会委員名簿の確認  
委嘱状の交付
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 委員・事務局職員紹介
  - (4) 会長・副会長の選出  
会 長：信州大学経法学部 准教授 武者 忠彦委員  
副会長：松本市町会連合会 副会長 土屋 澄彦委員

(5) 議事

ア 市民懇話会の趣旨について

- (事務局) 資料 1 3 新庁舎建設ロードマップについて説明  
資料 1 2 平成 2 9 年度会議日程について説明  
資料 3 新庁舎建設の検討経過について説明  
資料 4 庁舎の現状について説明  
資料 5 新庁舎の規模の試算について説明  
資料 6 現在地で改築した場合の最大延床面積について説明  
資料 7 立地適正化計画の都市機能誘導区域と誘導施設について説明  
資料 8 市民等から意見を受けた建設場所(現在地以外)の検証について説明  
資料 9 松本市役所新庁舎建設候補地検証委員会からの意見書について説明  
資料 1 0 現在地の庁舎用地としての評価について説明  
資料 1 1 新庁舎建設に係るこれまでの主な市議会一般質問及び答弁内容について説明  
資料 1 4 事務室配置図について説明
- (会長) 事務局の説明について何か質問はあるか。  
(委員) 用地の取得を予定している場所はどこか。  
(事務局) ロードマップを作成した時点で想定したものであり、現在必ずしも想定があるわけではない。周辺にご迷惑が掛かる場合もあると認識しているため、必要に応じて相談したい。  
(委員) 周辺の民有地取得を考えた方がよい。  
(委員) 建設場所が決定している前提は理解したが、5 0 年先を見込んで建設場所を決めたのか。5 人の検証委員会委員は、市民意見をどの程度把握して決定したのか。  
(会長) ここでは事実確認に止めたい。  
(委員) 非公開の部分はあるか。  
(事務局) 特にない。  
(委員) 機能分離を念頭に入れて、今後意見を述べてもよいか。  
(事務局) 松本市は 3 5 地区それぞれに地域づくりセンターや、一部には支所・出張所機能もあり、引き続き必要と認識している。機能分離に関する意見も出してよい。  
(委員) 今後予定されているワークショップはどのような形式、位置付けか。各地区で分散して行うのか。

(事務局) 日程は未定だが、年明けに実施を予定している。自由参加で、市民の皆さんが使う部分のご意見を聴きたい。市内全体から集まっていただくことを想定している。

(委員) 議事録は記名で公開するのか。

(事務局) 無記名としたいが、いかがか。

(会長) 無記名での公開でよい。

#### イ 現庁舎見学

事務局の誘導と案内により、委員及び傍聴者が現庁舎(本庁舎・東庁舎)を見学した。

#### ウ 意見交換

(会長) 現庁舎を見学した感想、今後に向けての意見をいただきたい。

(委員) 非常に立地が良いことを実感した。ここにあるべき機能と移管できる機能を研究しながら、よりよい選択をしたい。美しい展望や眺望をアピールできるレストラン等の場所があるとよい。

(委員) 立地が良い。もっと市民の方が来て政策形成に関わる拠点となる可能性を持っている。一方、現庁舎は事務室が書類で雑然としており、チームで仕事ができる環境にない。掲示物も来庁者にきちんとメッセージを伝えられていない。これを機にしっかりと改善する必要がある。

(委員) ワークショップでは、中学生や高校生など若い世代を呼び、自由な意見を聴く機会を与えてほしい。

(委員) 市役所をよく利用するが、東庁舎1階と2階の配置が分かりにくい。地図を見れば、すぐに行きたい場所が分かる新庁舎を期待している。

(委員) 文書の乱立が目についた。セキュリティ上は、鍵のかかるキャビネットに入れる必要があると思う。新庁舎にもスペースの余裕がある訳ではないので、そろそろ紙の文書をなくすことを真剣に考えてはどうか。

(委員) 機能が複雑に入り組んでいる。職員同士で働く場所に関して話し合う機会を設けた方がよい。人口減少を見据えたうえで、床面積の試算をした方がよい。

(委員) 「市役所」という建物は、基本的にオフィスとして効率良く作られていれば、特段何かをする必要はない。この懇話会の委員の皆さんを見ていると、それだけでは満足できない様子で、

何をそんなに求めているのか逆に新鮮で感心する。松本の人はずただの市役所では満足できないというのが、非常に興味深い。同じ規模や人口でも、この熱意が他の自治体にあるとは思えない。「市役所に何を求めるのか」「市役所とは何か」について、全国にもインパクトのある市役所を考えられれば面白い。

(委員) やはり狭いと感じた。車いすの方が安全に移動するのが難しい。スロープはあるが斜度がきつく、上がれない方もいるのではないか。物理的な障害物はないのが望ましい。また、福祉関係課が一か所にまとまっているとよい。

(委員) 新庁舎は低くなり横に広がると思うが、行き先が確実に分かるような案内図が必要。

(委員) 狭あい化が顕著だと感じた。

(委員) ヨーロッパの市庁舎は100～200年使うのが当たり前で、市の中心部に風格ある建物として残っており、市庁舎の前には広場があり、地下にはラーツケラーという市民が集まれるところもある。50～60年持てばいいという考えはおかしいと思う。地震に耐える躯体をしっかり作れば、100年後でも内部のレイアウトを変えればいい。建替えるのは行政の非効率であり、費用の無駄使いに通じる。

(委員) 他市町村の庁舎を見る機会が多いが、最近建て直された新庁舎でも目に付くところがあるので、これから建てる松本市のために意見を述べていきたい。

(委員) 子ども関係課もワンフロアにしてほしいと常々思っている。そこに保育士が常駐するキッズスペースがあり、窓口から子どもの様子が見えると、子ども連れでも来庁しやすくなる。

(委員) オフィスとしての機能は当然必要だが、市民のお城を作るつもりで臨みたい。松本城に負けなくらいの庁舎を作りたい。増やすばかりでなく減らすこと(スクラップ)も考えるべき。行政サービスを考え、まずソフト面を議論したうえでハード面を論じた方がいい。また、信州は木材が豊富なので、木造でもよいのではないか。

(委員) ユニバーサルデザインの視点で見ると、現庁舎は100点満点中20点。サインの位置が高すぎるうえ、色が不適切。ワークショップでは、さまざまな障害のある方の意見を吸い上げて反映してほしい。当然、外国人も増える想定になる。また、50～60年後の人口推計の資料がなければ、50～60年後に

必要な設備や広さ等を提案できないので、資料を示してほしい。

- (委員) 市民委員は応募時に作文を提出している。名前を出す必要はないが、第2回市民懇話会での意見交換の参考に、事前資料としてもらえるとありがたい。
- (会長) 市民委員の作文は共有してもよい。人口推計等の資料は最低限にして、各委員が個別に調べたものを共有したい。
- (委員) 会議は今後も土日開催か？
- (事務局) 今年度はその予定。30年度以降は、皆さんの出席しやすい日時に調整したい。
- (委員) 新潟県庁は1980年代に移転して非常に立派なものがあった。当時は新潟県にバブルの気風があったが、最近急速に新潟市の衰退が進んでいる。長く使える市庁舎をという意見とは矛盾するが、身の丈に合わない立派すぎる建物は、衰退した時に惨めな象徴になってしまう。松本市の将来をしっかりと見据える必要がある。
- (委員) 「市役所がこんな場所になったらいい」という議論をしっかりと深めたい。興味深い資料があれば、各委員から事務局へ出していただき、事務局からも事例を共有する工夫ができたらいいい。
- (会長) 次回まで日数もあるので、委員から事務局に情報を提供し、共有するルートを確保したい。今日委員から出された意見は、大きく分けて3つの話題だったかと思う。1点目は、オフィスとして効率的、安全で、わかりやすい、使いやすいこと。2点目は、まちづくり的な視点で、公共空間としてここをどう考えるのか。特に、この場所にあることの意味は何か、場所の文脈や可能性を考える必要がある。3点目は、長期的な視点に立った市役所のあり方とは何かということ。このあたりを第2回以降も議論していきたい。
- 次回は、12月17日(日)10時15分から開催したい。第1回市民懇話会の議事を終了する。
- (事務局) 委員の皆様には、あらためて意見の記入用紙を送付するので、提出をお願いしたい。必要な会議資料等についての要望、委員間で共有したい情報も事務局へ寄せてほしい。現庁舎に欠けている部分ですぐに直せる部分是对応したい。長時間にわたりご意見をいただき感謝申しあげる。以上で、第1回市民懇話会を終了する。